



## 保健医療計画 — 養父市総合計画部門別基本計画 —

# 「健康やぶ21」 を改定しました

評価では市民アンケートや統計数値等をもとに、39項目、66の指標を策定時と比較しました。

その結果では、運動を心がけている人の割合が低く、ストレスを感じている人の割合が増えるなど「身体活動・運動」「休養・こころの健康づくり」の分野で悪化傾向が見られます。

これらの結果と計画策定後の制度改正や社会情勢を踏まえて分野ごとに今後の方向性を定めています。

### 【計画の基本目標】

- ①安心の地域医療体制の確保
- ②早世予防・健康寿命の延伸
- ③こころからだの元気を支える健康づくり

### 【重点目標】

- ①地域医療の確保と保健・医療の機能的な連携
- ②身体活動量を増やして生活習慣病を予防する
- ③地域の見守りや周りの人の気づきから自死を減らす
- ④発達障害児等に対応した支援体制の整備

市では平成18年に策定した「保健医療計画「健康やぶ21」」に基づき健康づくり事業に取り組んできました。策定から5年が経過したので、達成度・進捗状況を把握し目標の評価を行い、今後の課題を次の5カ年の計画に反映させました。

健康やぶ21では、生活習慣病とその原因である生活習慣に関する項目をもとに「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「糖尿病・循環器病・がん」「栄養・食生活」「歯の健康」「たばこ・アルコール」といった生活習慣にかかわりの深い6分野と「親子の健康づくり」の観点から1分野を加え、7分野で推進方策を設定しました。

それぞれの分野における現状と課題、スローガン、行動目標、目標年度の指標と目標値、その達成のための市民・支援する機関や団体の取り組みを記載しています。

計画の推進にあたっては市民のみなさんが積極的に健康づくりに参加していただくことが重要です。

「健康やぶ21改訂版」は、広報や健康教室などで随時みなさんにお知らせしていく予定です。

「改訂版ダイジェスト」をご希望の方は市役所健康課にお申し出ください。

### 【お問い合わせ】

健康課（☎662-3167）

## 拝啓 市民の皆様

東日本大震災で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。ともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。また、現在行方不明となつておられる皆様の一日も早い発見と被災地の早期復旧・復興を心から願っております。

東北地方と関東地方を襲った大震災は、マグニチュード9という、今まで経験したことのない破壊的なエネルギーでもつて東北関東地方に襲いかかりました。さらに、破壊され負傷した多くの家屋や人々を信じられないほどの大津波が襲い、全てを太平洋の荒波の中に呑み込んでしまいました。地震の発生から時間が経過し、その状況がますます明らかになるにつれ、その被害の大きさと悲惨さに息のみ言葉を失いました。雪が舞う寒空の中、被災された家族を失われた方々の悲しみと失意を思うとき、胸が張り裂ける思いがいたします。

兵庫県は平成7年の阪神淡路大震災において、また、養父市も平成16年の台風23号において、全国からの温かい支援を受け、復旧・復興を果たすことができました。その時の支援に報いるためにも兵庫県等と緊密な連携を取りながら、養父市としてできる限りの人的・物的支援を行つていかねばなりません。この国難ともいえる大災害に対し、養父市として、養父市民として何ができるかを真剣に考え、市民一丸となつて支援活動を行つていきたいと思います。市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

市長 広瀬 栄